

放送日 2012年8月9日～22日

「東海地震にそなえて 今週のワンポイント・アドバイス」

いつおこるかわからない「東海地震」。情報から隔絶されやすい外国人の被害を少なくするために、地震の被害から身を守る方法や、事前の準備、地震直後にとるべき行動など、外国人の皆さん一人一人に知ってほしい防災情報をお伝えするコーナーです。

## 22. 応急手当を覚えよう

地震が起きると、やけどをしたリケがをします。応急手当をしてください。けがをした人の様子をよくみて、手当をしてください。

### (1) 骨が折れたとき

靴、靴下、きつい洋服はぬがしてください。または、切り開いてください。細い棒を2、3本あててください。骨が折れたところを支えてください。骨が折れているところを、心臓より高くしてください。あまり動かさないでください。骨が外に出ていたら、汚さないでください。すぐに病院に連絡してください。

### (2) やけどをしたとき

やけどをした部分をできるだけ早く、冷やしてください。痛みや熱がなくなるまで冷やしてください。やけどをすると皮膚が破れます。ばい菌が入りやすいです。やけどしたところをさわらないでください。冷やすときは、水道の蛇口の水を直接、傷口にあてないでください。

### (3) 血が出たとき(血の止め方)

傷口が汚れていたら、きれいにしてください。傷口にきれいな布をあてて、強くおさえてください。血が止まらないときは、止血点をおさえてください。止血点は、血を止めるためにおさえたり、しばったりするところです。下の絵を見てください。血の出ているところと心臓の間で、心臓に近いほうをおさえてください。

### (4) 倒れたとき

意識を失っている人の体をむりに動かさないでください。ネクタイやベルトをゆるめてください。息を吸ったり吐いたり楽にできます。

しけつてん  
止血点

